

# 第6回 企業インタビュー

株式会社三共冷熱 代表取締役社長 宮本 大輔 様

三共冷熱は空調設備、冷蔵・冷凍設備をはじめ、多様な機械設備の設計、施工、メンテナンスを総合的に行う企業。「水と空気の快適未来」をコーポレートスローガンとし、幅広い分野で事業を展開しています。社長の宮本大輔氏にお聞きしました。

## 相談され、頼られる企業でありたい。

「当社とほかの設備会社との違いは、守備範囲の広さです」と宮本社長。空調設備から防災・給排水衛生・ガス設備、冷凍冷蔵設備、搬送装置までをフォローできる設備会社は珍しく、それが同社の強みでありセールスポイント。「設備会社」とは、メーカーが製造した「機器」の設置プランから設置工事やメンテナンスを行う会社ということですが、病院の空調設備やスーパー・食品工場の冷凍冷蔵設備などは「待ったなし!」のスピーディな対応が求められます。他社ならメーカーに任せる状況でもすぐに担当者が駆けつけて処置。フットワークの良さと幅広い技術力では定評があります。

福山能開短大の卒業生も、現在6人が活躍中。働きやすい職場づくりにも積極的で、社内の一角に本格的な「カフェコーナー」をつくり、仕事でも自由に無料のコーヒーでくつろげます。

新人研修には独自の教育プログラムを実施する予定だとか。会社がめざしているところをお聞きすると「何かやってくれそうだと相談され、頼られる企業でありたい」と宮本社長。学生時代にはラグビーで鍛えた体とガッツの持ち主。社員にとっても気軽に相談でき、頼りになる存在です。



株式会社三共冷熱

昭和20年(1945年)創業。冷凍機器の修理からスタートし、空調・換気設備、給排水衛生設備の分野にも事業を拡大。施工対象は学校、病院、オフィスビル、住宅、工場や食品倉庫など多岐にわたり、快適な生活・職場環境を提供することで社会貢献をめざしている。

## 令和2年度 合同企業研究会



福山産業教育振興会主催の「合同企業研究会」が1月27日(水)に開催され、このコロナ禍の中、計28社と多くの企業にご参加いただきました。

備後地域では、人手不足が続いている状況にあると多くの企業から伺いました。各社PR方法を工夫し、真剣に学生へ向き合っていたり、学生もその説明を熱心に聞いていました。

学生は4月の入学から約10ヶ月が経過しています。就職を目指す学生は、2年間という短い期間の中で就職を決める必要がありますが、各科の教員がしっかりとサポートする中でよりよい就職を目指します。

学生たちは更なる成長を遂げ、コロナに負けず、福山市を始めとする備後地域の地元企業への就職を目指してもらいたいと思います。また、ご参加いただいた企業におかれましては、ご多忙の中お越しいただき誠にありがとうございました。



## Googleマップで 福山能開短大が見学できます!

Googleマップで「福山能開短大」を検索して、「ストリートビューと360°ビュー」を選択すると、本学の授業をする教室や実験室などを見ることができます。ぜひ、ご覧ください!

中国職業能力開発大学校附属福山職業能力開発短期大学校

# 福山能開短大 News vol. 35

## 第12回 全日本EV&ゼロハンカーレースin府中

★手作りエンジン製作の取組みで 本学が特別賞 受賞!

EVや排気量50ccのゼロハンカーでスピードや運転技術を競うレース大会が2月27日、28日(土)にかけ府中市の桜が丘グラウンドで開催されました。本学からは生産技術科2年生が4台(手作りエンジンカー2台、4サイクルゼロハンカー2台)エントリーしました。特に手作りエンジンは昨年に引き続きの出場で大きな注目を集めました。大会では車同士の接触やマシントラブルが起り、結果として入賞することができませんでした。皆、この悔しい思いをばねに将来への原動力としてもらいたいと思います。なお、表彰式では「1から作る手作りエンジン」が「ものづくり」の観点から高く評価され、特別賞を受賞しました。

## 出場を振り返って...

参加したドライバー4人に、率直な感想や教訓を聞いてみました。(写真左から)



- 松田さん  
毎日遅くまで残り作業しましたが、みんなと協力してゼロハンカーを作ることがとにかく楽しくて、大会が終わった今は充実感でいっぱいです。実際にコースを走行した時はうれしくて、ゼロハンカーをやったよかったと思いました。
- 守安君  
正直、全てが大変でした。ほんの少しの詰め甘さで、2日目のレースでは、最後にエンジントラブルで走行できなかったのが、凄く、もの凄く悔しいです。ものづくりの厳しさを肌で感じました。
- 佐野君  
設計が思った以上に大変で、グループで話し合いながらエンジンを製作することでものづくりの楽しさと加工の難しさを知ることができました。そのエンジンを積み、大会で走行できたことは忘れられません。
- 井上さん  
エンジンの製作がとにかく大変でしたが、エンジンが始動した時は感動しました。昨年のエンジンより良いもののできた自信があります。最初は怖かったけど、ゼロハンカーの運転は最高に楽しかったです。

中国職業能力開発大学校附属 福山職業能力開発短期大学校

〒720-0074 広島県福山市北本庄4-8-48  
TEL.(084)923-6391/FAX.(084)921-7038  
http://www3.jeed.or.jp.nswasp.com/hiroshima/college/



福山能開短大 WEBサイト QRコード



アクセスMAP専用 QRコード (Google Maps)

福山能開短大

検索

# 第31期生の皆さん、 ご卒業 おめでとうございます! ございます!

3月18日(木)、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、第31期生の卒業式が挙行されました。答辞は、生産技術科の小林 大悟さんです。

なお、以下のとおり、優秀な卒業制作に贈られる緑渓賞(ろっけいしょう)、総合制作優秀賞及び総合制作実習特別賞が授与されました。

- [緑渓賞]  
2ストロークエンジンの設計・製作
- [総合制作優秀賞]  
pico-EVエコチャレンジ2021の挑戦
- [総合制作実習特別賞]  
AI Deep Learningによるネジ切り加工判定装置の開発



## 令和2年度 卒業制作 研究発表会 開催!

卒業制作研究発表会が3月3日(水)に開催されました。卒業制作研究発表会は、卒業間近の2年生が、この1年間の卒業制作の成果として最後の発表をします。

卒業制作では、各科の学生数名がグループとなり1つのテーマを設定し、制作を行うものです。これまで習得した知識および技能・技術の成果を活かす場であり、通常の授業とは違い、学生自らが課題に対する解決方法を考え、場合によっては先生や同じグループの学生に相談しながら進める、実践的な実習です。コロナ禍でもあり、時間の調整が大変であったのではないかと思います。

今回の学生の発表では、様々な課題を乗り越え、卒業制作の成果を見ることができました。この経験は就職先や進学先で活かされて行くものと思われます。今後の活躍を期待しています。



## 球技大会開催!!

例年5月に開催される恒例の学生自治会主催による全学年全科対抗の球技大会を11月21日(土)に変更し、開催されました。大会種目はソフトボール、バドミントン、バレーボール、ドッジボールの4競技です。球技大会前には朝早くに登校して練習をし、授業後も遅くまで練習をしていました。今年はコロナ禍でもあり、体を動かす学生がとて楽しそうであったことが印象的でした。怪我もなく、素晴らしい大会になったのではないのでしょうか。



## 今年の大会結果

- ソフトボール ——  
第1位 電気エネルギー制御科[2年生]  
第2位 生産技術科[2年生]
- バドミントン ——  
第1位 生産技術科[2年生]  
第2位 電気エネルギー制御科[1年生]
- バレーボール ——  
第1位 電気エネルギー制御科[2年生]  
第2位 電子情報技術科[1年生]
- ドッジボール ——  
第1位 生産技術科[2年生]  
第2位 生産技術科[1年生]

## 第6回 沖縄海洋ロボット コンペティション2020参加報告

昨年11月7日(土)、8日(日)に沖縄県宜野湾市で開催された、第6回 沖縄海洋ロボットコンペティション2020に参加しました。当校は、通信用ケーブルを経由した映像をもとに、操縦者が陸上から海中の機体の遠隔操作を行う有線型のロボット(ROV)部門に2台が出場予定でしたが、搬送中のトラブルによりやむを得ず棄権となりました。一生懸命製作しただけにとても残念ですが、この経験を今後活かしていきたいと思ひます。



## pico-EV エコチャレンジ 2021への挑戦



pico-EVエコチャレンジ2021は、3月7日(日)に東京都小平市にある職業能力開発総合大学校で開催される予定でしたが、今年度はコロナ禍により大会初のオンラインの開催となりました。完成した車両で、事前に走行した動画を事務局に送付し、当日はZoomを使ったポスターセッションとなりました。結果として、車両のデザインが高く評価され、エコデザイン賞を受賞しました。

## 企業見学会

毎年、福山産業教育振興会(産教振)の協力を得て、1年生各クラスが地元企業へ訪問する企業見学会が、11月18日(水)に行われました。生産技術科は「本瓦造船(株)」「(株)シーケイエス・チューキ」、電気エネルギー制御科は「(株)栄工社」、電子情報技術科は「太平洋電機産業(株)」を見学させていただきました。見学先では、会社の概要説明及び社内での見学だけでなく、活発な質疑応答が行われ、学生たちにとって就職・仕事に対する意識、社会人としてあるべき姿、そして今何をすべきなのかを知ることができました。このコロナ禍の中で非常に難しい就職活動を強いられる1年生にとって、今後の進路を考える上で貴重な経験となる本見学会に協力をいただき、産教振、そして各社に感謝を申し上げます。

## 応用課程 説明会と 見学会

応用課程の説明会と見学会が11月4日に倉敷市にある本校(中国職業能力開発大学校)で開催されました。応用課程とは、本学で実施している専門課程(2年間)から進学できる、いわゆる一般大学の3年次、4年次に相当する課程です。各科に分かれ、応用課程の教官から科の詳しい話や、本学から応用課程に進学した学生から在学中の様子や進学して良かった点などを聞くことができ、大変勉強になったと思ひます。各実習場等を見学し、開発課題の説明を中心に、応用課程で学ぶ内容とその実習環境等について知ることができました。また、令和2年度から本校の応用課程では、生産ロボットシステムコースが設立され、第4次産業革命による様々な技術に対応できる人材の育成が始まりました。今回の見学会では、その大規模な実習装置も見学することができました。  
※開発課題とは、企業から提示された課題をテーマとし、応用課程の異なる3科の学生がグループとなり、役割分担をし、卒業制作を行う授業です。

